

圓城寺正道 議員



▲露茜 (つゆあかね) の植えられた畑

Q 新種苗露茜による梅の里づくりの考えは

A 市の推奨作物として推進してまいりたい

Q 市道の整備要項の要件としては、5mまでは用地は寄付、補償は有償とし、さらには同意書の添付をお願いしているが、農道整備にも該当するのか。

A 環境経済部長 農道としては、整備する場合の事業制度は、事業規模、受益面積により単、団体営、県営などの事業があります。土地の無償提供については、県単事業では、原則用地買収費は事業費に含まれません。団体営・県営事業においては、

用地買収費は事業費に含むことが出来ませんが、地権者からの無償提供の同意があれば、どの事業においても県や国への補助事業の要望がしやすい状況になります。農道整備における同意書の添付については、事業要望時は受益者の同意、事業認可時は受益者を含む地権者の同意により土地の無償提供による整備が可能です。

Q 果樹産地育成の中で新種苗露茜 (つゆあかね) による

A 梅の里づくりの考え方を伺う。
市長 栽培促進を行います。市内の梅栽培農家やJ A茨城千代田の協力のもと、約2・5haの苗木の植え付けに取り組んでいるところです。本市は、果樹の産地として、数多くの品種が栽培されており、この新種露茜は、加工用としての用途など、将来性も有望と考えますので、市の推奨作物として推進してまいりたいと考えております。

質問事項

1. 市道及び農道の拡幅工事について
2. 果樹産地育成について
3. 子の農業体験学習について

矢口 龍人 議員



▲神立駅

Q 神立駅地区事業計画の土地利用構想の考えは

A 事業効果の検証などを含め慎重に対応したい

Q 商工会の中には、経営規模が小さい事業者があるが、地元商工業者に発注の情報提供を行い、受注の機会の拡大ができないか。また、随意契約の実施状況を伺う。

A 市長 市内業者の受注の拡大という観点から本制度などの点についても検討をしてまいりたい。また、随意契約の実施状況は、担当各課で契約した案件で賃貸借が35件、物品購入で11件、修繕工事費等で159

件、業務委託が127件で、合計332件です。これはほとんどが30万円未満になります。

Q 神立駅地区事業計画が策定されているが、急激に社会情勢も変化している中で、この地域の土地利用構想の考えと事業完成までのタイムスケジュールについて伺う。

A 市長 国の政権交代に伴って、公共事業費の圧縮や交付金化など、財政的支援措置が不透明な状況にあり、経済状況

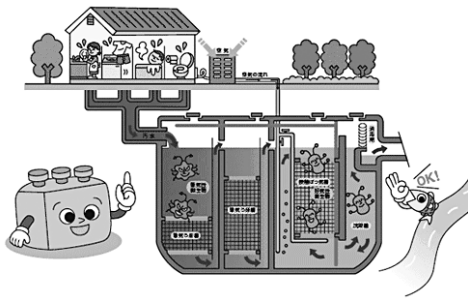
が悪化し、回復の見通しが立たない現時点においては、財源的にもかなり厳しい状態にあると思いますので、事業効果の検証などを含め慎重に対応してまいりたいと考えております。

現時点でのタイムスケジュールは、平成22年度に都市計画決定をし、平成23年度に事業計画認可を申請いたします。認可後各種調査等をえて区画内の工事に着手をし、平成30年度の完了を予定しています。

質問事項

1. 市内商工業者への経済対策について
2. 神立駅周辺地区整備事業について
3. 公用車の事故防止対策について
4. 市内における飲酒運転防止策について
5. 農業再生元年と位置づけ「新たな農業モデル」各種事業の展開について
6. 小学校、中学校の教育環境悪化を改善するための取り組みについて

一般質問



▲合併浄化槽による水質浄化

佐藤

文雄

議員



▲田植え風景

中根

光男

議員

Q 固定資産で非課税としていた公衆用道路を雑種地に变更后課税したが、元に戻すべきではないか。

A 市民部長 行き止まりの私道は、公共の用に供する道路としての取扱いはできないと判断し雑種地課税としました。

Q 土浦市や石岡市では、2戸以上の住宅の用に供している行き止まりの私道で、何ら通行制限を行っていない道路を公衆用道路として固定資産税を全

Q 下水道整備で人口が少ない区域は高度処理型合併浄化槽で整備すべきではないか。

A 市民部長 行き止まりの私道が何らの制約がなく、しかも、不特定多数の方の通行の用に供されていることが、公共の用に供する道路としての非課税要件としており、当市においては、行き止まりの私道は、その取扱いはできないと判断し、雑種地課税をしたものです。

Q 当市の排水未整備区域は、すべて下水道整備で計画されているが、今後は人口密集地ではない区域が対象となるが、人口が少ない区域は高度処理型合併浄化槽で対応・整備すべきではないか。

A 土木部長 下水道事業計画書では、市全体を下水道整備地区に掲げていますが、事業を行うには、認可取得が必要ですので、現在認可を取得していない地域は、合併浄化槽の整備を進めております。

質問事項

1. 下土田内への残土問題について
2. 入札制度の改善について
3. 公共事業における発注者側の安全管理指導と請負業者の社会的責任について
4. 公共事業における発注者側の安全管理指導と請負業者の社会的責任について
5. 国民健康保険税の引き下げ、保険税の軽減及び免除制度の拡充について
6. 固定資産税課税のあり方について
7. 交通安全対策について

Q 農業に対する中・長期的な展望と支援策を伺う。

A 市長 農業を発展させていくためには、農業を営営していく農業者を育てることだと考えております。本市においても、優れた農業経営をしている方も多くおり、そういった方々をモデルにしまして、認定農業者の育成と確保、また、安定した農業経営と経営体を強化する観点から法人化に取り組んでもらえるよう支援してまいりたいと考えております。

Q 一人暮らしの高齢者、障害者世帯に対し火災報知器無料配布の考えは。

A 保健福祉部長 急病や災害時等の対応と日常の不安の解消を図るため65歳以上の在宅の一人暮らし高齢者等に対して、緊急通報システムを給付、及び対応をしている世帯等を対象に平成22年度より緊急事態において機敏に行動することが困難な、非課税世帯及び生活保護世帯に無料で設置をしまして、火災の発生を未然に防止し、または早期に報知する環境を整備し、安心・安全な生活を支援するよう取り組んでまいります。

Q 障害者世帯への火災報知器の助成等については、障害者等日常生活用具給付事業制度の中に自立支援生活補助用具として、火災警報器が該当となります。

質問事項

1. 農業再生ビジョンについて
2. 戸別所得補償制度について
3. 子どもの読書運動について
4. 安全な自転車通学について
5. 各学校の耐震化について
6. 一人暮らしの高齢者、障害者世帯に対し火災報知器無料配布について
7. 公有財産のデータ化について
8. 市のHP（ホームページ）で動画配信サービスについて

古橋

智樹

議員



Q 国保税の公平性確保を図る方策は

A 国保税の資産割課税は、不公平感を否めない

Q 生徒一部の常軌を逸した行動から見た過去10年の子育て及び教育施策の不行届きと今後の方策は。

A 教育長 喫緊の課題として

子どもたちの学校生活の落ち着きのなさを取り戻すために、先生方が子どもたちに声をかけ、話を聞きあい、分からないことを教えたりという地道な努力を続けています。保護者の方たちも地域のボランティアの方とともに子どもたちに関わり、

そして投げかけているところがあります。いじめや問題行動については、問題解決のサポートチームを作り、対応をしているところ

Q 皆保険の公平性における国保税の資産割と固定資産税

路線価単価の格差及び当市国保加入者働き世代数の推移を伺う。

A 市民部長 公平性を確保するうえで所得割・資産割

などの応能割と均等割・平等割

Q 高倉、五輪堂橋の計画と見直しは

A 茨城県、石岡市を含めた3者で各事項を協議中

Q 下稻吉小学校体育館改築計画について。

A 教育部長 体育館は、耐震性能がやや低いということ、また面積が狭隘だとい

う問題点を抱えていますので、整備計画の中で検討を重ねている状況です。

財政の見直しについては、計画の内容が固まり次第、市長部局とも調整を図って進めてまいります。なお、平成22年度の国の学校

Q 高倉、五輪堂橋の計画と見直しを伺う。

A 土木部長 本事業は、茨城県土木部が行う河川改修事業に伴うものであり、事業主体

は茨城県となります。進捗状況は、茨城県、石岡市を含めた3者で各事項を協議中であり、既

に、地元説明会を行いました。調査設計、事業計画、橋梁の形状、位置、事業費の案が決定したところ。今後の事業計画といたしましては、平成22年度に石岡市側からの取り付け道路の工事及び橋梁下部工事に着手する予定。なお、現在、石岡市と別途認定事項や負担割合等について協議を重ねており決定に至っておりませんが、今般の予算

には暫定的な茨城県への負担額を計上しております。



▲現在の五輪堂橋

山内庄兵衛

議員

質問事項

1. 下稻吉小学校体育館改築計画について
2. 土木行政について
3. 高倉、五輪堂橋について
4. 漁業関係について
5. 国定公園の見直しについて
6. J A茨城千代田とJ A土浦との合併について、その後の働き掛けについて
7. 雪入砂防ダムについて

質問事項

1. 生徒一部の常軌を逸した行動から見た過去10年の子育て及び教育施策の不行届きと今後の方策について
2. 皆保険の公平性における国保税の資産割と固定資産税路線価単価の格差及び当市国保加入者働き世代数の推移について
3. 再検証する神立駅周辺整備計画の総事業費と事業規模における費用対効果分岐点について
4. 財政事情から思案する神立駅西口区画整理事業の年次計画について
5. 財政事情から思案する神立駅西口区画整理事業の年次計画について

平成21年度
第2回議員研修会

茨城県市議会議長会主催
平成22年2月5日(金)
於：鹿島セントラルホテル

小松崎議員、井坂議員、石井議員の3名が参加。
専修大学講師 加藤幸雄氏による「分権時代の議会の役割と議会の改革」の講演、意見交換会が行われました。



議会日誌 diary

2月	15日	議会運営委員会
	16日	石岡地方斎場組合議会
	17日	後期高齢者医療広域連合議会定例会
18日		湖北環境衛生組合議会
	22日	新治地方広域事務組合議会定例会
23日		全員協議会
		議会運営委員会
25日		新春防衛懇話会
	3月 2~23日	第1回定例会
4月	7日	茨城空港開港式
	13日	文教厚生委員会
	16日	茨城県市議会議長会定例会
	17日	百里基地開庁記念祝賀会
	21日	産業建設委員会
	23日	議会だより編集特別委員会
	27日	関東市議会議長会
	28日	霞ヶ浦庁舎竣工式
	30日	総務委員会
	5月	7日
10日		石岡地方斎場組合臨時議会
11日		文教厚生委員会
12日		県南市議会議長会定例会



▶「霞恋」と「湖山」

和田
正美
議員

Q 観光事業の推進について

A 各種の施策を積み重ねてまいりたい

Q 公共道路の安全確保のための「張り出した樹木の枝払い」についての推進、実施計画は。

A 土木部長 張り出した樹木の枝払いについての推進計画につきましては、広報紙による周知を継続して行い所有者等に管理意識の向上を図ってまいりたいと考えております。

また、実施計画については、難しい部分もありますので今後とも、区長要望への速やかな対応

や道路パトロールによる管理を、さらに強化し対応してまいりたいと考えております。

Q 観光事業の推進について。

A 市長 昨年には「湖山の宝」発掘プロジェクトの一環として、湖山やフレッシュアップジュース、サンマロン、霞ヶ浦帆引き船模型の4品目を、かすみがうら市推奨品認定商品として認定し、さらには、12月18日にブルーベリーリキキュール「霞恋」

を発売し、マスクミ等にも取り上げられ、話題性としては、かなりの効果があったのではないかと考えております。「湖山の宝発掘プロジェクト」施策効果については、事業の実施により、即効果が現れるというものではなく、各種の施策を幾度も積み重ねて行くことにより徐々に現れてくるものでありますので、今後も、根強く推進してまいりたい。

質問事項

1. かすみがうら市活性化事業の推進について
2. かすみがうら市安全・安心な生活環境づくりへの取り組みについて